令和２年度　第２回山北町総合教育会議　議事録

１　開催日時　　令和３年２月２４日（水）

　　　　　　　　開会：１０時３０分　　　閉会：１１時３０分

２　開催場所　　山北町役場　防災対策室

３　出席者（敬称略）

　（１）委員　６名

　　　　山北町長　湯川　裕司

山北町教育委員会教育長 石田　浩二

　　　　山北町教育委員会教育長職務代理者　野地　泰次

　　　　山北町教育委員会委員　小菅　正子

山北町教育委員会委員　今村　敏雄

　　　　山北町教育委員会委員　佐藤　直美

　（２）事務局　２名

　　　　企画政策課副主幹　　　伊東　琢磨

　　　　企画政策課主任主事　　井上　知洋

（３）オブザーバー　２名

　　　学校教育課長　髙橋　英治

　　　生涯学習課長　松田　浩義

４　傍聴者　０名

５　会議概要

１　開　会　伊東副主幹

　２　町長あいさつ　　湯川町長

３　教育長あいさつ　石田教育長

４　議　題

（１）令和３年度当初予算案の概要について

|  |  |
| --- | --- |
| 湯川町長事務局湯川町長松田生涯学習課長石田教育長湯川町長石田教育長湯川町長佐藤委員事務局湯川町長野地委員湯川町長石田教育長湯川町長石田教育長湯川町長 | 　それでは、議題（１）令和３年度当初予算案の概要について、まず初めに、先般２月１５日の議会全員協議会において、また記者発表において説明させていただいたところですが、当初予算の編成にあたり、教育施策に対する私の考え方について述べさせていただきます。　新型コロナウイルスの影響により、今までとは異なる生活様式への変化を余儀なくされている一方で、都市部から地方へ注目が集まるなど本町にとっても子育て世帯を呼び込むきっかけになるのではないかと考えています。　また、少子化の中で子どもたちの教育は非常に大事なことだと考えており、その点を踏まえて予算を配分いたしました。なお、緊急を要するものについては随時予算化をしていきたいと思っています。予算案の概要につきましては、事務局より説明をお願いします。事務局より令和３年度当初予算案について説明ただいま事務局より説明がありました令和３年度当初予算案について、ご意見、ご質問がありましたら発言をお願いします。河村城址歴史公園の整備について説明させていただきます。毎年、県の補助金などを使いながら少しずつ整備を進めており、今年度については遊歩道や景観整備を進めてまいりました。令和３年度につきましては、入城口と公園内の説明看板の増設を進めていきたいと考えています。令和３年度当初予算案の新規拡充事業として、ぐみの木公園のトイレの洋式化がありますが、今後の構想などを町長にお聞きしたいと思います。ぐみの木公園については、駐車場整備やドッグラン、人工芝の張り直しなど利用者の利便性を考えて徐々に整備を行ってきました。令和３年度のトイレの洋式化についても、利用者の要望を伺いながら整備を計画しているものです。今後は遊具を増やすことも考えていますし、実現できるか分かりませんが周辺に喫茶店のようなものが出来たらいいのではないかと思っています。利用者の声を聴きながら、使いやすさと安全性の向上を目指して、より良い公園にして行ければと思っています。ぐみの木公園の利用者を見ていると、特定の年代の方だけでなく幅広い年代の方が来られていて、とても良い雰囲気であると思います。現在検討しているスマートＩＣ周辺の公園につきましても、気軽に訪れて時間を過ごせるような形を目指しております。何度も来ていただけるような公園となるよう、皆様にもアイデアをいただきたいと思っています。公共交通対策事業について、３月に三保小が閉校となり、三保地区の子どもが三保地区以外で過ごす時間が増えると思います。今後は親がかりでない交通手段が必要になってくると思いますが、本事業にはそういった要素も含まれますか。本事業は公共交通機関の補完的な役割として運行するもので、予約制の形を検討しています。送り届けるだけではなくて、少しの時間だけなら待ってもらうといったことも考えられます。営業時間の制約や既存の交通機関との兼ね合いなども含め、どのような形が良いのか検討しながら、公共交通機関の補完事業としてうまく機能するように運営していきたいと思います。河村新城について、改めて拝見しましたが歴史を感じる素晴らしいものでした。新東名高速道路の整備の中でほとんどが埋まってしまうと聞いていますが、跡地の景観は素晴らしいので、是非残していただけたらと思います。新東名高速道路の工事はどうしても必要になりますが、最近では工事事業者がドローンを使って映像を撮っておりますので、本町を訪れた方にはそれらの映像をお見せできればと考えています。町単独ではなく、県と連携した中でどのように残していくか検討していけたら良いと思います。整備中の河村新城を皆さんに見ていただく取り組みも続けていきたいと思っています。放課後児童クラブと放課後子ども教室については、少子化で生徒数が減っているにも関わらず利用者数が増えており、ニーズは高まっています。今後、町と教育委員会で０歳から１５歳の一貫教育を進めていく中で、２事業の一体化をさらに進めていきたいと考えています。そのほかによろしいでしょうか。それでは「令和３年度当初予算案の概要について」は以上とさせていただきます。 |

（２）山北高等学校における「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」について

|  |  |
| --- | --- |
| 湯川町長石田教育長今村委員野地委員石田教育長湯川町長佐藤委員湯川町長 | 　次に、議題（２）山北高等学校における「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」について、石田教育長より説明をお願いします。山北高校では令和元年度から「未病」「防災」「SDGs」をテーマに、フィールドワークや発表などの取り組みを行ってきました。文科省の指定が残り１年となり、町としてどういった支援ができるのか、また、山北高校から町への提言という形の中で期待したいことなどを意見交換させていただきたいと思います。フィールドワークに関して、私も実際に学生に対して町の説明をさせていただきました。色々な学習をした結果を、町民に見える形でアウトプットしてもらいたいなと思っています。山北町を若い世代がどういう風に見ているかというのは、住んでいる人にとっても山北町を再発見するいい機会になるのではないかと思います。高校生が積極的に町の課題に取り組んでいる姿を知ってもらえれば、山北高校への協力を申し出てくる町民の方もいると思います。そういうつながりができてくるとより充実した教育になると思います。町の広報紙の中で、定期的に山北高校の取り組みを紹介するスペースを確保してもらっています。町民の方に理解してもらうということは大切で、山北高校の存在感をPRしていく必要性があると思います。もうひとつは、町の姿勢としても施策や発信方法について、若い意見を取り入れることも検討できたらいいのではないかと思います。スマートＩＣの周辺を整備する中で、どうしたら喜んでもらえるか、リピーターが増えるのか考えなければいけませんが、若い世代の方たちの意見を取り入れれば、大きく進展するのではないかと思います。ふるさと納税を通して感じたのが、プラットフォームが最も重要であるということです。山北町を訪れる方が、町の情報をどういうところから入手しているのか、そこを一番気にしなければいけないと思います。山北高校の生徒には山北町に深くかかわっていただいて、山北町に帰ってきてくれるような取り組み、山北っていいな、ここで過ごしたいな、ここで就職したいなという経験を得られるような取り組みがあれば実りあるものになるのではないかと思います。そのほかによろしいでしょうか。それでは山北高等学校における「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」については以上とさせていただきます。本日の会議の議題は、これですべて終了となりましたので、進行を事務局にお返しします。 |

５　その他

|  |  |
| --- | --- |
| 事務局 | 来年度の会議日程でございますが、基本的には本年度と同様、１回目を町の予算編成時期である１１月頃、２回目を２月頃に実施したいと考えておりますが、その他議題がある場合は、随時開催したいと考えております。具体的な日程につきましては、改めて調整をさせていただき、ご連絡させていただきます。 |

６　閉　会　伊東副主幹

以　上